



いっしょに歩こう！ プロジェクト

日本聖公会東日本大震災被災者支援



東京教区では

支援復興基金として3億円を奉獻することが教区会で決まりました。教区財政の状況が厳しいことは十分理解したうえで、被災地の方々の痛みと苦しみを覚えて実行したいと常置委員会から提案されました。現在受聖餐者一人当たり6万円に相当する大変な取り組みです。

大阪教区では

大西主教と常置委員の呼びかけで、来年3月を目標に、第1次分として5千万円の募金活動が始まりました。現在受聖餐者一人当たり2万5千円です。阪神淡路大震災では大阪教区だけでこの倍額を集めた実績があります。このときは全国から3億4千万円の募金が寄せられ、今度は自分たちが身を切る番だという思いがあります。

京都教区では

8月19日の京都教区大震災支援会議で募金活動の内容が決定されます。話し合いの結果はそれぞれの教会で報告されますが、9月2日発行の対策室だよりでもお知らせします。

管区ボランティアセンター（仙台「青葉静修館」及び「室根ナタナエル教会」）

この二つは宿泊センターです。ここからそれぞれの救援拠点に向かいます。

青葉静修館は塩釜まで15km、室根ナタナエル教会は気仙沼まで15kmの場所にあります。

救援プログラムは、現在は参加者自らが設定して活動することになっています。

宿泊の予約などの連絡は022-265-5221 祝日以外の10:00~17:00に各自で行ってください。

京阪神3教区ボランティアセンター（小名浜 「聖テモテ ボランティアセンター」

いわき市小名浜の聖テモテ教会の敷地内に8月下旬に開設されます。運営は次の日程でそれぞれの教区が中心となって担当します。8/1~8/15 神戸教区 8/16~8/31 大阪教区 9/1~9/30 京都教区

ボランティアプログラムはセンターが用意します。費用など詳細は追ってお知らせします。

事前予約やお問い合わせは京都教区教務所(075-431-7204)

8/2 藤原司祭は現地でボランティアをされている方と一緒に、久ノ浜へ行き、復興には、まだ多くの人の手が必要であると感じました。



毎週火曜日、12時15分から、聖アグネス教会で、震災被災者の方々を覚えて、昼の祈りを行っています。

次回は9月2日に発行します